

令和 6 年度 活動成果評価委員会 評価のまとめ

1. 全体の評価点について

■総合評価点	4.4
・ 博士課程大学院コース及びインテンシブコース入学者数	4.0
・ 各職種における専門・認定資格取得状況・実績	4.0
・ 学位(修士・博士課程)取得状況・実績	4.0
・ 論文発表数、学会発表数	4.7
・ プロジェクト統括会議(内部評価)の実施体制	4.7
・ 活動成果評価委員会(外部評価)の実施体制	4.9
・ プロジェクト運営推進委員会の実施体制	5.0
・ 特定非営利活動法人近畿がん診療推進ネットワークとの協力体制及び連携体制	4.9
・ 【定性2】次世代のがん専門医療人の育成のための体系的教育システム構築及び環境整備	4.6
・ 【定性3】情報発信及び普及	4.6
・ 【定性4】第一回活動成果評価委員会からのフィードバックに対する対応	4.1

2. TF ごとの評価点について

■総合評価点【TF 1】	4.1
① TF の課題解決に必要な人材育成の取り組み状況	4.4
② インテンシブコース、レクチャー、セミナーの開催	4.4
③ 連携大学共同プロジェクトの進捗報告	4.3
■総合評価点【TF 2】	4.1
① TF の課題解決に必要な人材育成の取り組み状況	4.0
② インテンシブコース、レクチャー、セミナーの開催	4.1
③ 連携大学共同プロジェクトの進捗報告	4.3
■総合評価点【TF 3】	4.0
① TF の課題解決に必要な人材育成の取り組み状況	4.3
② インテンシブコース、レクチャー、セミナーの開催	4.1
③ 連携大学共同プロジェクトの進捗報告	3.9

活動成果評価委員からの コメント抜粋

1.評価いただいた点

- ・ プロジェクト推進のための組織運営は適切。
- ・ 全国のがんプロ組織との連携で体系的な e-learning システムを構築し、積極的にコンテンツ登録を行ったことは素晴らしい。
- ・ HP がリニューアルされ、充実した内容となっている。
- ・ 遺伝カウンセラーやがん看護インテンシブコースなどは入学者が多い点は素晴らしい。
- ・ SP を活用した多職種の合同演習はとても素晴らしい。参加者数(学生数)がもう少し増えると良い。
- ・ 多職種で検討する事例検討もとても良いアイデアの企画である。
- ・ NPO との協力体制についても患者・市民参画も意識した企画があり、患者として大変感謝している。

2.改善を要す点

(受入人数関連)

- ・ 目標人数に対して受け入れ実績がやや物足りない。働き方改革等の影響もあり、がんプロを目指す方が減少している傾向なのかが懸念される。魅力あるプログラムで多くのがんプロ人材が育成されることを期待する。
- ・ 放射線治療医や薬剤師の院生数増加を期待する。
- ・ RI 内用療法や二重鎖抗体等新しいバイオ医薬品の導入が進みつつあり、放射線技師等も含めた新しい分野の専門人材育成も進むことを期待する。
- ・ 学生数の表が見づらい。第三期からの継続数は不要ではないか。

(業績関連)

- ・ 教員の業績が多く、がんプロ大学院生が実際に加わった論文・学会発表が少ない。積極的な論文発表、論文指導をお願いしたい。
- ・ TF3 であげている CRC の育成に関して、育成システムの内容や実績が不明。

(情報発信)

- ・ SNS 発信等も含め、広く認識が進むことを期待する。
- ・ 関西圏のがんプロと、より有機的な情報共有が進み、課題やその対応での成功事例を迅速に共有することができるような連携体制があると素晴らしい。
- ・ がんプロが何をやっていて、どういう人にマッチするのか情報発信に課題があるのではないか。
- ・ 専門資格取得者の声や研究成果など、一般市民へ向けたレイサマリーなども含め掲載されるとより魅力的なものになるのではないか。

(教育効果の判定)

- ・ オンライン教育：
どれくらいの受講生が参加しているか、職種別にはどうか、理解度などのデータも今後検討して頂ければ幸いです。また、第3期までの対面広義に比べての教育効果も調べて頂ければ幸いです。
- ・ SP 演習、多職種演習：
対面型に比べた教育効果を検討ください。参加人数や教育効果・満足度などのアンケートも、資料として提示いただければ幸いです。

(活動成果評価・その他)

- ・ TF ごとに分けるのが難しい事業もあるだろうが、重なっている場合は明記をして欲しい。重複があることで TF の特色が薄れている印象がある。
- ・ 医療者向けと一般向けのセミナーが一目で分かるようにして欲しい。
- ・ 文科省の中間評価もある為、事前に設定された課題にどれくらい対応出来ているかを意識した報告書作りをして欲しい。